

# 日向路の博物館

発行：宮崎県博物館等協議会事務局 [http:// miyahakukyo.starfree.jp](http://miyahakukyo.starfree.jp)

—宮博協だより第24号の発刊によせて—

宮崎県博物館等協議会 会長 黒木 義博

令和時代の始まりとなる今年度の事業は、計画どおり終了することができました。事業内容については次ページ以降に記載しておりますが、御協力をいただきました皆様には心より感謝申し上げます。

今年度は、国内外において、博物館に関する様々な出来事のあった年でした。

まず、昨年4月にはフランスのノートルダム大聖堂、10月には沖縄県首里城で火災が発生し、多くの建物や収蔵品が失われました。

また、昨年9月には、日本では初めての国際博物館会議（ICOM）大会が京都で開催され、120の国と地域からの参加者が博物館に関する議論を深めました。

そして、年明け以降、新型コロナウイルスが世界的に流行し、3月には当協議会の多くの会員館・園が休館する状況となりました。

博物館のあり方や果たすべき役割について、考えさせられる一年となりました。

県内博物館の一層の発展を図るため、会員館・園相互の連携を深めながら、皆様とともに協議会活動に取り組んで参りたいと思いますので、引き続き御協力、御支援をよろしくお願い申し上げます。

「みやざき歴史文化館」は、今年度（令和元年度）で閉館となります。平成4年7月25日のオープン以来、古代からの歴史を刻む蓮ヶ池にて、宮崎の歴史や文化を紹介してきました。27年の間に122万人を超える県内外からの来館者に親しまれた会員館でした。



みやざき歴史文化館

## 【退会のごあいさつ】

皆様には、当館運営につきまして、長年に亘りひとかたならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

ご案内のように当館は、歴史、民俗、神話等に関する資料の収集、保管展示のほか、子ども達や市民に郷土の歴史、伝統文化、神話等に接する機会と場所を提供するため、市制60周年記念行事の一つとして建設されました。お蔭様で、常設展、企画展をはじめ各種講座等にも多くの方々に来館戴きました。

これもひとえに市民の皆様が、故郷の歩みに関心をお持ちになり郷土愛を育み、日々の生活の中で文化の素晴らしさを身近に感じようとしていただいていること。そして、催しへの県博物館等協議会会員みなさまのお力添えの賜物だと思慮いたしております。

これまで皆様より頂戴しましたご支援ご愛顧に心からの感謝を申し上げます。

みやざき歴史文化館 館長 樋口廣徳

## 令和元年度 宮崎県博物館等協議会 実施事業

### 1 令和元年度 総会、第1回研修会

【期 日】 令和元年5月24日（金）

【会 場】 宮崎県総合博物館

【開会行事】 会長あいさつ 宮崎県総合博物館 館長 黒木義博

【総 会】 ○ 議 事

- ・ 平成30年度事業報告について
- ・ 平成30年度決算（案）及びミュージアムマップ更新積立金残高報告について
- ・ 令和元年度事業計画（案）、予算（案）について

○ その他

- ・ 新規加入館について
- ・ ホームページの移設について
- ・ 会費の納入について
- ・ 災害時相互協力基金の寄付について
- ・ 教育データベースへの情報提供について
- ・ その他

【研修会】 ○ 講 演

- ・ テーマ「最近の展示事例に見る魅力ある展示手法について」  
講師：株式会社丹青社 小山将史 氏

○ 視 察

- ・ 第39回 SSP 展

### 2 令和元年 第2回研修会

【期 日】 令和2年2月7日（金）

【会 場】 みやざき歴史文化館

【開会行事】 会長あいさつ 宮崎県総合博物館 館長 黒木義博

【研修会】 ○ 講 演①

- ・ テーマ「文化財及び施設火災を防ぐには」  
講師：宮崎市消防局予防課 崎田晃司 氏

○ 講 演②

- ・ テーマ「宮崎市の文化財の紹介と今後の活用」  
講師：宮崎市教育委員会文化財課 今城正広 氏

○ 協議、情報交換

- ・ 災害時相互協力の実施について
- ・ 情報交換等

○ 視 察

- ・ みやざき歴史文化館  
展示解説：みやざき歴史文化館 福嶋一恵 氏、松下朋生 氏

### 3 広報

- ・ ホームページの移設（プロバイダーの貸し容量サービスの終了の為）
- ・ SNS（Facebook、Blog）による情報発信

### 4 災害時相互協力

- ・ 基金への寄付の受付

## 令和元年度 総会・第1回研修会について【報告】

### 1 総会

前年度の事業報告、決算等及び会計監査報告、今年度の事業計画案、予算案について第1号～4号議案として事務局の説明後、全体で協議し、承認を受けた。

また、その他として、宮崎県埋蔵文化財センターの新規加入について、ホームページの移設や会費の納入について、災害時相互協力基金の寄付について、教育支援データベースへの情報提供についての説明を事務局が行った。会員から、新規加入の説明に対し、入退会の規約や手続きの要綱などの検討をすべきとの意見をいただいた。

総会前の役員会では、各館・園間の情報交換等のため、施設の運用形態(指定管理等)を名簿への掲載について要望があった。



総会の様子

### 2 研修

講演 テーマ:「最近の展示事例に見る魅力ある展示手法について」  
講師:株式会社丹青社 小山将史氏(デザインセンター カルチャー&コミュニケーションデザイン局 第3デザインユニットマネージャー)

講演では、小山氏が担当された全国13カ所の施設について、設計やデザイン等のご紹介をいただきながら、そのポイントについて解説をいただいた。実践例から、今までと違う視点や深度で「何を、どう伝えるか」を追求し、新たな展示手法が生み出されたことを中心に説明をいただいた。

例えば「国立アイヌ民族博物館」では、中央に代表的な展示物を配置することで短時間でも全体の概要が分かる工夫を行った。「山内丸山遺跡」の収蔵施設ではガラス越しに収蔵品や整理作業が閲覧できる設計がされており、「夕張市石炭博物館」ではウォールグラフィックでボリュームのある解説文も原稿を削らずデザインに組み込むことができた。「福井県児童科学館」では、科学を数という新しいカテゴリで構成し直し、新たな発見や主体的で対話的な学びができるように工夫された。また、様々な館のデザインではユニバーサルデザインを取り入れることや、体験できる内容を取り入れるなど、分かりやすさと体感を重視した傾向を紹介いただいた。ただ、「新潟市新津鉄道資料館」や「兼続お船ミュージアム」のように既存の資料やケースなどの再利用も効果があることから、コストへの視点も大切であることも紹介いただいた。さらに親子や低年齢への対象の拡大について「福岡よかもんひろば!」や、「蒲郡市生命の海科学館」の空間利用の実例から紹介いただいた。参加者の質問から、進歩した機器の利用という視点ではスポット型のプロジェクターや調整可能なLEDライト、スマートフォンを使った多言語化への対応などの話題が出された。全国の博物館等の実例を紹介いただき、会員館・園の今後の展示企画やイベントへ、大いに参考となる研修となった。

視察 第39回 SSP展

宮崎県総合博物館と日本自然科学写真協会の主催で、開催中であった第39回 SSP展の概要説明と、本年度の特徴を職員が説明し、自由に作品を閲覧していただいた。



講演の様子



視察の様子

#### 【事務局からのお知らせ】

##### ○ 令和2年度の総会、研修会の期日・会場について

来年度の事業について担当者会(R2.2.7実施)にて次のように計画しました。各会員館・園の予定へ、記載をしていただくと助かります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

- ・ 役員会、総会、第1回研修会 …令和2年 6月 5日(金) 宮崎県立美術館
- ・ 第2回研修会 …令和2年 10月 9日(金) えびの市歴史民俗資料館

## 令和元年度 第2回研修会について【報告】

### 1 研修

講演① テーマ:「文化財及び施設火災を防ぐには」

講師:宮崎市消防局予防課 崎田晃司 氏

木造の文化財における建物の延焼の特徴、初期消火の重要性と、煙感知器等の警報への適切な対応について説明があった。漏電や短絡などの電気火災も想定して日頃の点検を行う必要がある。自衛消火を行うには、消防設備の種類や使用法を職員が把握する必要があり、消防設備会社等の点検時などに説明を受けておくといいたアドバイスがあった。消防法で決められた消火設備が正常に動作するために、適正な維持管理が必要との指摘があった。消防訓練での心構えや、煙からの避難、負傷者搬送の想定についても解説があった。また、イベント等で火気を扱う際の注意点も確認をした。配布された東京消防庁のチェックシートを参考に、日頃の防火対策及び災害への心構えを見直す必要を感じた。



講演①の様子

講演② テーマ:「宮崎市の文化財の紹介と今後の活用」

講師:宮崎市教育委員会文化財課 今城正広 氏

宮崎市は、国・県・市指定を合わせて 151 点の文化財を管理しており、宮崎市独自の登録文化財も 24 点ある。これらの管理での難題について、天然記念物の「去川のイチョウ」を例に説明があった。文化財保護法により、文化財は国民的な財産として、国民・所有者等も保護に努めなければならない。そのため宮崎市の事業の紹介があった。例えば生目古墳群の保存整備や二見家住宅の保存修復などである。そうした文化財の保護のための、歴史資料館の企画展示や公開講座、学校への出前授業、ボランティアガイドの要請など市民への普及・公開・活用への事業展開も紹介があった。こうした事業展開は、全国に先駆けて宮崎市が導入した指定管理制度から、文化財課と指定管理者が協力して取り組んでいる。宮崎市の多くの文化財について、管理者の立場で考えることができ、更にその魅力を見直す機会になった。



講演②の様子

視察研修 施設展示解説

説明:みやざき歴史文化館 福嶋一恵 氏、松下朋生 氏

国指定の蓮ヶ池横穴群について、特徴やその分布、魅力などと共に、整備について解説があった。木造の阿弥陀如来像については、廃仏毀釈の中、地元で守られた仏像のいきさつや、発見した墨書により、製作の時代や製作者が分かったことなどの解説があった。ただ、閉館と共に、今後は閲覧する機会が減るとの話もあった。神話を題材とした映像シアターがあるが、閉館と共に、こうした資料も同様に閲覧する機会が無くなる。閉館により立派な施設及び展示資料が、資料保管にのみ使用されることを惜しむ参加者の声が多々あった。



館内視察の様子

#### 【事務局からのお願い】

##### ○ 会員館のイベント広報について

協議会の HP・SNS で会員館・園のイベント情報を広報しています。ぜひ、情報をお寄せください。

※ 協議会の研修や活動について、ご意見等ございましたら、事務局までご連絡ください。また、HP 等の記載内容につきましても、訂正等ございましたら、お知らせください。

【発行】 令和2年3月31日

〒880-0053

宮崎市神宮2丁目4-4(宮崎県総合博物館内)  
宮崎県博物館等協議会 事務局

Tel. (0985) 24-2071

Fax. (0985) 24-2199

HP. [HTTP://miyahakukyo.starfree.jp](http://miyahakukyo.starfree.jp)